

せんがくず新聞

リコー
DesignCenter



編集・制作: 梅澤朝樹
発行日: 2007年4月2日
第21号



奇跡的な春晴れ! 充実した練習合宿となる!

雨の心配があった春合宿。昨年の伊東合宿では雨で野球ができなかったということもあり、今年は何としても野球がしたかった。しかし自然の摂理には逆らうことができない。体育館も予約し、不安ながら初日を御殿場事業所グラウンドでむかえた。

多少、小雨もあったが、野球をするには影響なく初日は守備、バッティング、試合形式と一通りの練習をおこなうことができた。また、二日目は快晴に見舞われ、千本ノックもおこなうことができた。二週間後の1Dリーグに向け、弱点である守備の強化を図る充実した合宿となった。



新人さんの自己紹介

練習前に、新人+助っ人の自己紹介から始まった。右から千葉大出身の山口君、未来大の小野田君、小野田君の友人の伊東君である。山口君、小野田君は、共に趣味レベルで野球を経験していた。想像以上に野球が上手く、今後の成長が期待された。

またもやラフォーレ修善寺の宴会場

一昨年の修善寺合宿では、憧れの宴会場を予約したが、またしても憧れが実現した。個室での宴会場で新人さんとも話し、交流をはかった。また、いつのまにかハンカチ落としが始まり、子どもと共にはしゃいだせんがくずナインであった。



フリーバッティング、基本ノック、試合形式、全体鬼ノックでチーム力強化

合宿の一番の目的は、守備力の強化である。そのためメニューが組まれた。まずはフリーバッティングで身体を慣らし、基本ノックでは選手が1列に並び、基本的な形を身につけるための練習をおこなった。次に試合形式で実践感覚をつかみ、最後は梅澤鬼コーチのノックをうけ、チームに一体感が生まれた。

最後は地獄の千本ノック!

合宿の恒例となった千本ノック。選手は自ら志願し、倒れるまで左右に振られるノックを受けた。こうして新人は洗礼を受け、明日から初出社となるのであった。

